

受けていますか 精密検査

がんは大きくなるまで自覚症状がありません。

発生した1個のがん細胞は、目立った症状がないまま増え続け、10年から20年くらいかけて一般的にがん検診で発見できる1cm程度の大きさの塊になります。

しかしその後、2cm程度の大きさになるまでにはわずか1年から2年で、それ以降は進行がんとなり、症状が現れてきます。まれに急激に進行することもあります。

がん検診を受診し、精密検査が必要となった方は

「自覚症状がないから」「たまたまかも」と自分で判断するのではなく、精密検査を受けましょう。

がんの進行と自覚症状が出るまで



問合せ／町民保健センター TEL75-0359

町の保健室

歯周病は家計にも影響？ 歯周病とお金の話

■歯科医院に支払うお金は1年間でどれくらいになるか計算したことがありますか？

国民全体の歯科にかかる医療費は、1年間でなんと約2.9兆円。がん(3.7兆円)に次いで第2位となっています。心臓病は1.9兆円、脳卒中は1.8兆円、糖尿病は1.2兆円ですから、歯科にかかる医療費がいかに多いかが分かります。

特に歯周病の治療には、1人当たり年間約1万3,000円かかっていて、これはむし歯治療の8倍だそうです。さらに歯周病が怖いのは、糖尿病や動脈硬化、脳卒中など全身のさまざまな病気を発症、悪化させてしまうため、それらの病気にかかる医療費も増えてしまうところです。歯周病の方は歯周病の治療費だけでは済まないことが多いようです。

■歯周病を防ぐには

歯周病を防ぐ方法の一つとして、定期健診を受けるということがあります。「定期的に歯科医院に通うなんて、それこそ医療費が…」と思うかもしれませんが、定期健診で歯周病を予防できれば、または早いうちに発見、治療して軽度で済ませることができれば、結果的に総医療費を抑えることができるのです。

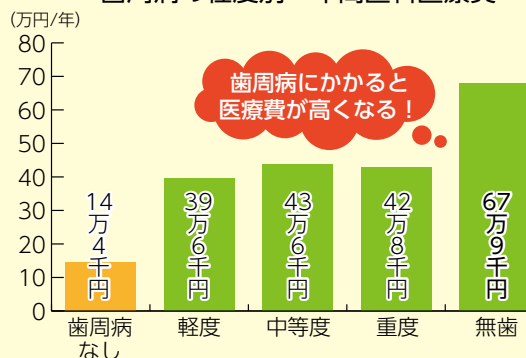
口の中は思った以上に複雑な形をしていて、自分では隅々までチェックして異常を見つけることはできません。歯周病は感染症のため、少しの見落としでも歯周病菌を増殖させてしまうことになりますので、そこはプロにお任せするのが得策です。

■別海町歯周疾患(歯周病)健診

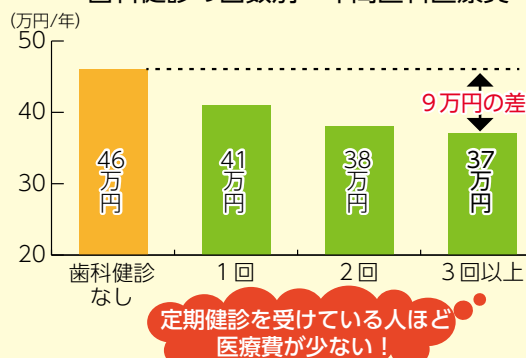
本町では30歳、40歳、50歳、60歳、70歳になる節目の方に無料で歯科健診を受けられる「別海町歯周疾患(歯周病)健診」を実施しています。対象の方には無料受診券を送付済みです。有効期限が令和4年1月31日(月)までとなっていますので、ぜひご活用ください。

本年度、歯周疾患健診の対象ではない方も定期的に健診を受けることは、歯周病の予防や早期発見のためにとっても重要で、結果的にはお財布にも優しいのです。積極的に歯科健診を受けて大切な歯の健康に努めましょう。

歯周病の程度別 年間医療医療費



歯科健診の回数別 年間医療医療費



【問合せ】町民保健センター TEL 75-0359 FAX 75-0337 Eメール hoken@betsukai.jp